

報告書

カヤックインストラクター/ガイドベーシック検定 北海道小樽市会場

2018/06/01 BLUE HOLIC Sea Kayak St.

○概要

実施日：2018年5月29日～30日

会場 学科：北海道小樽市塩谷1丁目28-13BLUE HOLIC Sea Kayak St.研修室

会場 実技：北海道小樽市塩谷海水浴場内第二防波堤付近

受験者：4名 合格者：4名 入会希望者：2名 2名は社内で検討中。

○開催の経緯

北海道泊村にてダイビング、カヤックツアー、レンタルなどを開催している“杯テラス”代表大塚氏からスタッフ研修を兼ねて受験したいという申し出があり、開催を予定。その後、JSCA 公認スクールでもある“大滝アドベンチャー”代表酒井氏から新人にベーシックイントラを受験させたいとの要望から日程を調整し、開催を決定。

○学科講義

今回の検定受験者は2018年5月9日～10日にガイド向けに行ったSRP講習会に参加したメンバーなので、学科は基礎検定テキストを中心にを行い、総論では協会に所属するメリット、JSCAという団体がどのような団体であるかを中心に講義を行った。

安全では、ガイドという立場から救急法取得の必然性、重要性と共に予防、回避することが重要であることについて講義をした。

基礎知識では、カヌーギア、パドルスポーツの多様性に加え、指導論、技術論の考え方について講義をした。

受験者はガイド歴10年以上の方や、2年未満の方と経験に差はありましたが、十分な理解度があり、テスト後のフィードバックで理解不足の点を補った。



○実技検定

北海道にしては暖かく、汗ばむ陽気で軟風べた風のベストコンディションのなか実技検定が開催できた。

検定前に検定内容について説明とデモンストレーションを検定官の嘉藤が行い検定を開始した。受験者の使用艇は全員シーカヤックで1名だけ、シーカヤックとファンカヤックの中間（キャロライナ 14）を使用。

漕艇技術に関しては練習の差が歴然とあり、杯テラスの受験者はツアー開始が6月からということで、現在はダイビングツアーのみの営業で練習が出来ていなかった様子。大滝アドベンチャーの受験者はJSCA 公認スクールからの受験者ということもあり、練習する時間が十分にあった様子でフォワードストローク、スウィープストロークに関してはインストラクター1レベルの漕ぎでスウィープストロークに至ってはインストラクター1のデモンストレーションレベルであった。

指導実技ではすでにガイドやダイビングインストラクターとして活動している方々なので自信をもって指導をしていた。点数が低い方は、今回使った道具に慣れていなかったことで説明不十分になった事や、技術的な分析、理解が足りなかったことによる減点なので、フィードバックでは、技術理解と、説明の組み立て方に関して行った。



○安全講習

すでに SRP は修了しているので、セルフレスキュー、チームレスキューは復習程度に終わらせて、牽

引研修やシットオントップカヤックレスキュー、タンデムシーカヤックレスキュー、トウラインがない場合、カヤック・パドルの搬送方法などを行った。



○総括

今回の検定会では事前講習代わりに SRP 講習会に参加している受験者ばかりなので余裕をもって検定会を開催できました。合格者のうち大滝アドベンチャーの 2 名は早ければ年内 11 月の検定会でインストラクター1を目指す意思を見せています。杯テラスの 2 名は会社判断ではあるが今後、公認後進性も視野に入れているというので、BLUE HOLIC でサポートしていく予定です。